

Part 1 基本情報

1. ミクロネシアプロフィール

- | | |
|------------|--|
| (1) 正式名称 | (和文)ミクロネシア連邦
(英文) Federated States of Micronesia |
| (2) 政体 | 連邦共和制、大統領制 |
| (3) 首都 | パリキール(1989年コロニアから遷都) |
| (4) 面積 | 701平方km |
| (5) 人口 | 11万728人(2009年世界銀行) |
| (6) 民族 | ミクロネシア系(カナカ人/マレー系、カナカ人と日本、アメリカ、ドイツとの混血など) |
| (7) 言語 | 公用語 : 英語 その他ポンペイ、ヤップ、チュークなど8種類の現地語 |
| (8) 宗教 | キリスト教(カトリック、プロテスタント) |
| (9) 略史 | 16世紀スペイン人が到達。1899年スペインがミクロネシアの島々をドイツに売却。1914年日本が占領、同20年日本の委任統治領となる。1947年国連の信託統治領としてアメリカの統治下に入る。1978年ヤップ、チューク、ポンペイ、コスラエの4州でミクロネシア連邦結成、79年自治政府発足。1986年アメリカと自由連合関係に移行、独立。 |
| (10) 在留日本人 | 約112人(2010年10月、在ミクロネシア日本国大使館) |
| (11) 気候 | 海洋性熱帯気候のため、一年中高温多湿で比較的一定している。首都のあるポンペイ島の年間降水量は4800mm ほどで、世界有数の多雨地帯である。 |

[参考]

「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(ミクロネシア支所概要)

住所 : 3rd Floor Martin's Building, Kaselehlie Street, Kolonia, Pohnpei 96941,
Federated States of Micronesia (P.O.BOX G, Kolonia Pohnpei 96941,
Federated States of Micronesia)

連絡先 : 国番号 : 691

市外局番 : 320

電話 : +691-320-5350/6750/4972

FAX : +691-320-5360

URL : <http://www.jica.go.jp/fsm/index.html>E-mail : mn_oso_rep@jica.go.jp

JICA事務所執務時間 : 9:00 ~ 17:30 (昼休み12:00 ~ 13:30)

休日：下記祝日および土・日曜日

(2011年)	1月 1日	元旦	F
	1月2-3日	年始休暇	
	2月11日	建国記念日	
	3月31日	Cultural Day	P
	4月22日	Good Friday	F
	5月 3日	憲法記念日	
	5月 4日	みどりの日	
	5月10日	FSM Constitution Day	F
	7月18日	海の日	
	9月12日	Liberation Day	P
	9月19日	敬老の日	
	10月24日	United Nations Day	F
	11月 3日	FSM Independence Day	F
	11月 8日	Constitution Day	P
	11月11日	FSM Veterans for Foreign Wars Day	F
	12月26日	Christmas Day	F
	12月29-31日	年末休暇	

* "F" denotes FSM holiday

* "P" denotes Pohnpei holiday

(2) JICA事務所周辺地図



事務所までの交通：

【空港から】

空港に待ち合いタクシーはないので、一般的にはタクシー会社に電話する。空港の売店にもタクシーの手配を依頼できる。タクシーは乗り合いで、事務所までは1

米ドル、所要時間は約5分である。タクシーにはスーパーマーケットのWall Mart向かい側のJICA Officeへ行くように伝える。

〔空港以外から〕

公共の交通機関が存在しないため、近隣のスーパーマーケット、売店で電話を借用してタクシー会社に電話をかけ、所定の場所まで来てもらう。

(3) 日本との時差、サマータイム 日本との時差 : +2時間(ポンペイ州/コスラエ州) +1時間(ヤップ州/チューク州)
サマータイム : 実施していない。

(4) 祝日、官公庁の休日 州により祝日が異なるので注意が必要である。

1月1日	New Year holiday	F
3月31日	Cultural Day	P
4月22日	Good Friday	F
5月10日	FSM Constitution Day	F
9月12日	Pohnpei Liberation Day	P
10月24日	United Nations Day	F
11月3日	Independence Day	F
11月8日	Pohnpei Constitution Day	P
11月11日	Veterans for Foreign Wars Day	F
12月26日	Christmas Day	F

(2011年)

* "F" denotes FSM holiday

* "P" denotes Pohnpei holiday

官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日、日曜日。

(5) ビジネスアワー (ポンペイ) 官庁 8:00 ~ 17:00 (土日休み) *州により勤務時間が異なるので注意が必要
銀行 9:00 ~ 15:00 (金曜日のみ17:00終業、土日休み)
商店 8:00 ~ 20:30 (スーパーマーケットを除き、日曜日は大半の店が休業。スーパーマーケットも18:00に閉まるところが多い)

(6) 言語 業務 : 英語が十分に通用する。
ホテル、買い物、食事 : 英語が通用するが、市場、一般商店などではポンペイ州では、ポンペイ語が使われている。

(7) 通貨 通貨 : 米ドル

(8) 通貨レート 為替レート : 1米ドル = 75.99円 (2011年10月28日現在)

(9) 関係機関

【在外日本関係機関】

●日本大使館

住所 : “Parni Building” 3rd Floor, Kolonia, Pohnpei, F.S.M. 96941 (P.O.BOX
1837, Kolonia, Pohnpei, F.S.M. 96941)

電話 : 320-5465/6366

FAX : 320-5470

URL : <http://www.micronesia.emb-japan.go.jp>

【ミクロネシアの関係官公庁】

●Department of Foreign Affairs

住所 : P.O.BOX PS-123

電話 : 320-2641

●ポンペイ州政府

住所 : P.O.BOX Pohnpei States Government

電話 : 320-2570

●ヤップ州政府

住所 : P.O.BOX 336

電話 : 350-4519

●チューク州政府

住所 : P.O.BOX 189

電話 : 330-2232

●コスラエ州政府

住所 : P.O.BOX 158

電話 : 370-3163

(10) 有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)<http://www.fsmgov.org/> (ミクロネシア連邦政府ホームページ)<http://www.fm/> (ミクロネシア連邦関連サイト集)

Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICAミクロネシア支所のあるポンペイ島の情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

グアム、ハワイなどで見られるような大人数を収容できる大きなホテルはなく、こぢんまりしたホテルのみである。なお、ポンペイ島の交通機関はあまり整備されていないため、ホテルに送迎依頼をしておいたほうがよい。

ポンペイ島の主なホテルは以下のとおりである（詳細はPart3イエローページを参照）。

 Yellow Page

- ・Cliff Rainbow
- ・Joy Hotel
- ・Ocean View Plaza
- ・Hotel Sea Breeze
- ・PCR Hotel
- ・South Park Hotel
- ・The Village Hotel
- ・Yvonne's Hotel



Ocean View Plaza

1-2 住宅事情

住宅の絶対数が不足ぎみである。賃貸住宅としては、独立家屋タイプのものでアパートタイプのものである。ここ数年、アパートの建設が進んでいるが、絶対数はいまだに不足した状態である。建物自体は、技術と建築資材の不足により、造りはあまりよくない。（1-5「住宅の契約」を参照）。

1-3 住宅の探し方

斡旋会社はなく、政府関係に勤務する場合は、関係機関から紹介を受けることも出来るが、大半は在留日本人などの紹介によるものである。

1-4 住宅選定上の留意点

ポンペイ島は雨が多く湿度も高いため、建物が白アリの被害を受ける場合が多い。特に木造の住居を選ぶ時には、この点に注意しなければならない。

現地では独立家屋の場合は平屋建てが多いが、家の周りにフェンスをめぐる習慣がなく、これまで凶悪な盗難事件が皆無に等しかったこともあって、防犯金網も寝室だけのところが多い。しかし、最近は住居侵入による盗難または盗難未遂事件が増える傾向にあるので、住居周辺環境によっては家屋の賃貸契約時に家主に防犯金網、バークラバーの設置を依頼するとよい。

1-5 住宅の契約

通常は、家主との協議で住宅の契約期間を決めたあと、契約書を作成する。契約書によっては、契約期間中の中途退居ができない内容となっている場合もあるので、契約書にサインする前に内容を必ず確認することが大切である。

契約期間中に退居する場合のペナルティー料金や、1か月以内の日払い分の料金設定が驚くほど高いこともある。家主のなかには、一度サインしてしまったあとにトラブルが起きた場合は、裁判も辞さない人もいるため、慎重に確認する。

家賃は通常月払いで、毎月小切手または現金で家主に支払う。平均的な家賃は、アパートで1DKが約500米ドル、2DKが900米ドル、独立家屋は3DKで1000～2000米ドルである。基本家具は大家が揃えてくれることが多いが、契約時の交渉次第である。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

公共料金は、大半が個人で支払うことになっている。電気料金は前払いで、必要な電力量を州政府電気水道公社で購入するシステム(キャッシュパワーという)になっている。また、水道料金は州政府電気水道公社に、電話料金は電信電話公社に毎月支払う(毎月請求書が送付される)。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は110V(アメリカと同じ)、周波数は60Hzである。

100Vの日本製品も利用可能であるが、電圧が一定でないため注意が必要である。

(2) コンセント、モジュージャックの形

アメリカと同様。アースもあるが、基本的には日本のプラグはそのまま使用できる。

(3) 家電製品

電気製品はアメリカ製および一部日本製が調達できるが、電源が単相110V、60Hzと3相220V、60Hzの2種類が配電されているので、日本から持参した製品も使用できる。一般家庭では110Vのものが大半を占め、日本製の電化製品を直接プラグインしても問題ないが、電圧が一定ではないため、精密機械(パソコンなど)には、安定器を使用することが望ましい。なお、プラグは日本製のものがそのまま使用できる。

1-8 家具保険

ミクロネシアでは家具保険に加入する習慣はなく、家具保険を扱う保険会社もないので、必要であれば、日本出発前に海外でも適用できる保険に加入することを勧める。

1-9 その他

家屋、備え付け家具には家主の管理責任があるが、借家人の過失によるものは借家人の責任で処理しなければならない。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

男性は半袖(ノーネクタイ)とズボン、女性はブラウスにスカートか、ワンピースが一般的である。現地で販売されているものは、綿製品が少なく、化繊物が多い。品不足で種類もサイズも少なく価格は安くはない。一年中平均して同じような気温なので、衣類の種類はあまり必要ではない。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

男性用、女性用、子供用、幼児用を問わず、綿製品を主体に日本から持参することを勧める。履物、下着も同様である。

(3) 現地で調達できる衣料

特にないが、ポンペイスカート(ウェストがゴムのロングギャザースカート)やTシャツ程度なら調達できる。

(4) その他の留意点

乳幼児用の紙おむつは、アメリカ製のものがスーパーマーケットで販売されているので、日本から持参する必要はないと思われる。寝具類についてはほとんど化繊物で価格も高い。タオルなども品質の割には高価。

2-2 礼装

(1) パーティー

一般的に男性は襟付きのシャツ(アロハシャツなど)とズボン、女性はワンピースなどである。

(2) 式典

ミクロネシアの祝祭日にもパーティーの時と同じ服装でよい。

(3) 冠婚葬祭

パーティーの時と同様でよいが、葬式には襟付きシャツ、黒に近いズボンの常識的なものを着用すればよい。

(4) その他の留意点

男性の場合、現地では背広・ネクタイを着用する習慣はない。一般のパーティーではアイランド・フォーマル(アロハシャツまたは襟付きシャツ)を着用する人が多い。

女性の場合は、ワンピース着用が一般的である(太平洋地域の在外公館所在地の服装を参考にするとよい)。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1)洗濯

クリーニング店はない。ホテルによってはメイドが洗濯してくれるが、水洗いのみで、ドライクリーニングはできない。洗濯の質はあまり高くない。コインランドリー(洗濯1米ドル程度、乾燥1米ドル程度)は手軽に利用できる。

アイロン、電気洗濯機はアメリカ製または日本製のものが購入できる。

(2)仕立て、修繕

簡単な仕立て、修繕ができる店が数軒あるが、技術レベルはそれほど高くない。

(3)保管

年間を通して雨が多く湿度も高いので、衣類にカビが発生しやすく、虫による衣類の害も多いので、タンスなどには通常の使用量以上に防虫剤・除湿剤を入れておいたほうがよい。防虫剤は現地で手に入る。

2-4 美容院、理髪店

美容、理髪を兼ねた店が数軒ある。そのなかの1軒、J.A.D's Enterprisesは、日本人理容師が経営する店である。なお、どの店舗でも、一般整髪についての技術は問題ないが、パーマ技術など高度なレベルではない。現地では美容・理髪用品は販売していないので、日本から持参したほうがよい。ポンペイの主な美容院、理髪店は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。



- ・J.A.D's Enterprises
- ・Palm Terrace Beauty Shop

3. チップ



3-1 チップ事情

(1)習慣の有無

チップの習慣はない。

(2)各種サービスに対するチップ

ホテルなどでも、基本的にチップを渡す習慣はない。

4. 食生活



4-1 外食

(1)一般事情

日本人が経営するレストラン(PCR Restaurant、Joy Hotel、South Park Hotelなど)が数軒あり、寿司、天ぷら、トンカツなどの日本料理が食べられる。

中国料理店は1軒。西洋スタイルのコース料理は、郊外のThe Village Hotelのレストランが利用できる。

(2) 飲食店

ポンペイの主な飲食店は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。



< 日本料理 >

- ・Cliff Rainbow Restaurant
- ・PCR Restaurant(日本人経営)
- ・Joy Hotel Restaurant(日本人経営)
- ・South Park Restaurant(日本人シェフ)

< 中国料理 >

- ・China Star Restaurant

< 西洋料理 >

- ・The Village Hotel Restaurant



Joy Hotel Restaurant

4-2 食料

(1) 一般事情

日常の食生活に必要なものは、すべて外国から輸入している。大半は1カ月に1回程度の割合で、定期船でアメリカ本土から搬入されている。これらの品物は、コロニア市内にあるスーパーマーケットで取り扱っている。生鮮野菜、果物類の種類は少ないため、不足分は缶詰や冷凍食品で補うことになる。しかし、消費期限の切れたものも多いため、購入時には注意が必要である。

(2) 主な食品の出回り状況

< 米 >

国内産はない。カリフォルニア米が輸入され、品切れも時には発生する。日本米はYOSHIEで購入可能である。

< パン >

アメリカからの輸入のもの(冷凍)と、コロニア市内で作られているものがある。

< 肉類 >

冷凍肉が輸入され、牛、豚、鶏、羊と一応揃っている。ひき肉類、ハム、ソーセージ類は冷凍品と缶詰製品が大半である。

< 野菜 >

キャベツ、白菜、タマネギ、ジャガイモ、ニンジン、ショウガ、ニンニク、セロリなどが輸入されているが鮮度は低い。キュウリ、ナス、ピーマンなど、現地でとれた野菜もたまに店頭に並んでいるが常時あるわけではない。

< 乳製品 >

バター、チーズは冷蔵品のほか缶詰が出回っているが、品切れになることが多い。牛乳はすべてロングライフである。たまに品切れになるが、缶詰の粉ミルクで代用できる。アイスクリームは輸入されている。

< 果物 >

リンゴ、オレンジなどが輸入され、ブドウ、洋ナシ、ナシ(アジア産)もたまに入荷する。国内産の様々な種類のバナナは地元のマーケットでほぼ常時手に入る。

< 卵 >

輸入品が多く、生食には不向き。

< 魚類 >

市内のスーパーマーケットでは冷凍のエビ、魚を販売している。リーフ内および近海でとれた魚、ロブスターなどは、主に地元のマーケットで新鮮なものが手に入る。

< 調味料 >

砂糖、食塩、だしの素、化学調味料、みそ、しょうゆ、ソース、チューブ入りワサビ、各種スパイスが購入できる。

< 酒類 >

ビール、ウイスキー、ワインは、いつでも購入できる。価格は日本より安い。

< 飲料水 >

水道水は、ときどき消毒薬が切れるため、生水の飲料は避け、煮沸して飲むほうがよい。なお、ミネラルウォーターも市販されている。

(3) 食料の入手

日本食品は、主にYoshie Enterprise(最も種類が多い)、Palm Terraceなどのスーパーマーケットで、みそ、しょうゆ、みりん、酒、漬物、インスタント食品(カレー、ラーメン、カップみそ汁)、乾物(のり、シイタケ、ふりかけ)、パック入豆腐などが販売されている。現地でとれるヤムイモ、パパイア、バナナなどは、地元のマーケットで販売されている。

ボンペイの主なスーパーマーケットは、次のとおりである。



- ・Yoshie Enterprise
- ・Palm Terrace
- ・Ace Commercial
- ・Wall Mart

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

電気による調理が一般的である。現地で調達できるものは、冷蔵庫、オーブンレンジ、電気炊飯器、電子レンジ、トースターなどの電気製品のほか、包丁(ステンレス製)、鍋、フライパン、まな板(プラスチック製)などの調理器具である。食器では皿、コップ、小鉢、ナイフ、フォーク、スプーンなどが調達できるが、デザインの種類は限られている。

食器や調理器具は、上記スーパーマーケットのYoshie Enterprise、Palm Terrace、Ace Hardware、Wall Martなどで取り扱っている。

(2)日本から持参したほうがよい食器、調理器具

出刃包丁、刺身包丁、すり鉢とすりこぎ、菜ばしなどは現地で調達できないので、必要に応じて日本から持参すること。

5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



Yellow Page

TV, DVDプレイヤー等、その他家電は現地で購入できる。家電製品は、NIHCOのほか、スーパーマーケットのAce Hardware、Yoshie Enterprise(詳細はPart3イエローページを参照)でも取り扱っている。

5-2 家具

販売されている家具の大部分は、アメリカ産の組立式タイプである。種類はそれほど多くはない。どの店舗もある程度の量しか在庫がないが、カタログで希望商品の入手も可能である。なお、注文から入荷までには約1カ月かかる。

Yellow Page

家具は、ACE Hardware、True Valueでも扱っている。

5-3 日用品、雑貨

ポンペイで日用品や雑貨を購入できる店は、前述のスーパーマーケットYoshie Enterprise、Palm Terrace、Wall Martなどである。

5-4 工具、素材

工具、素材ともに販売されている商品の種類は多くはない。主にアメリカ製の品物が販売されており、価格は日本と同程度である。工具・素材は、上記の家具店ACE Hardware、True Valueでも扱っている。

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1)銀行

国内で日本円から米ドルに両替できる所はない。コロニア市内に旅行者向けの両替カウンターはない。日本人がよく利用する銀行は以下のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

Yellow Page

- ・FSM Bank(全4州に支店あり)
- ・Bank of Guam(全4州に支店あり)

(2)口座の開設と閉鎖

団体や会社は、主に小切手を使用するための当座預金口座、個人は普通預金口座を利用している。FSM Bankの場合、残高がUS\$100以上であれば口座維持料はかからない。

(3)小切手

主要スーパーマーケット、ホテル、レストランなどの観光施設で使用でき、現地の人も使用している。小切手を作成するには、小切手用の当座預金口座を銀行で開設する必要がある。

(4)換金方法

該当情報なし。

6-2 クレジットカード

VISA、MasterCard、JCB、American Express、DCが主要スーパーマーケット、ホテル、レストランなどの観光施設で使用できるが、機械の故障がよく起こるため注意が必要であるし、一般的ではない。現金引き出しはBank of GuamのATMで可能(ただし、手数料がかかる)。

7. 交通事情**7-1 交通手段**

(1)一般事情

コロニア市内のタクシーは、主にセダンタイプ(乗用車)の乗り合いである。基本料金は、コロニア市内周辺では1米ドル、市外に出ると2米ドル以上になる。空港から市内のホテルへも1米ドルで行ける。深夜0:00ごろまで利用でき、深夜料金制度はない。ただし、ほとんどのタクシー会社が22:00ごろに営業を終えるため、注意が必要である。夜間のタクシー利用は安全上勧められない。また、日曜・祝日は営業していないことが多い。

タクシーを利用する場合は、州内での有線電話料金は基本料金のみなので電話を借りてタクシー会社に電話し、自分の居場所、行き先を告げると、タクシーが来てくれるが、待ち時間の長短に差がある。

(2)空港から市内への移動

タクシーによる移動が主である(予約ホテルによる送迎トランスポーターションもある)。料金は1米ドル。

(3)自家用車を利用する場合

コロニア市内の道路は、ほぼ舗装されている。ポンペイ島内の一周道路は、2005年、日本の無償資金援助で完成。舗装道路の運転で注意すべき点は、特にコロニア市内は犬が多く、車に向かってきたり、道路の真ん中で寝ていたりする上に、動作の鈍い犬が多く、はねる危険があることである。


ドライバーの運転マナーは良くない。コロニア市外ではスピードの出し過ぎが多く、週末の夕刻以降は飲酒運転やサカオ(鎮静効果のあるポンペイの飲み物)を飲んだ後の運転が多いので特に注意する。外灯がほとんどないので、夜間の道路は非常に暗く、ライトを終始アップで運転する車も多く、対向車のライトが非常に眩しく前が見難いことが多い。山間部のカーブの多い道路では、対向車が

車線を越えてくることが多々あるので注意を要する。救急車やパトカーが来たら路肩に停車しなければならない。コロニア市内では逆に非常にスピードの遅い車の中にタクシーなどの無謀な車が混じっているため、その落差に気をつける必要がある。

(4) レンタカーなどを利用する場合

空港到着時は、レンタカー会社に事前に連絡しておくことで車と共に迎えに来てくれる。料金は1500ccで1日約50米ドル、ガソリンは利用者払いである。時間貸しではなく、1日単位で借りる。運転手付きでレンタルできる会社もある。

主なレンタカー会社は以下のとおりである。

-  Yellow Page
- ・Budget Car Rental
- ・Senny's Car Rental
- ・Micro Car Rental

(5) 地図


観光用パンフレットに載っている程度の簡単なもののみである。

道路の案内標識もあまりないので、事前に観光局またはホテルで確認する。


7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

小さな接触事故であれば、示談となることが多い。大きな事故や人身事故の場合は警察を呼び、調書を作成してもらうこと。人身事故は救急車を呼び、病院へ運ぶのが先決である。

 Yellow Page また、事故を起こした場合は、アメリカ人の法律家を通じて多額の賠償金を請求されることもあるので、万一に備えて保険に加入しておいたほうがよい。

(2) 救急病院

 Yellow Page Pohnpei State Hospital (ポンペイ州立病院) およびGenesisが救急を扱っている。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車の盗難はあまり発生していないが、車から離れる際は必ずロックしておく。サイドミラー、ホイールキャップ、ラジオのアンテナなどを破壊または盗難されることがある。駐車場の常駐のガードマンはいないところの方が多い。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

右側通行である。法規はさほど問題はない。交差点、T字路では左折車が優先するところがあるので、直進車は交通標識に注意すること。方向指示器が故障している車両が多い。コロニア市内に交通信号機はないが、昼食時などの道路が混雑する時間帯には、警官が交通整理を行っている。

(2) 罰金、罰則

ポンペイ島内の最高速度は時速30マイル(約48km)で、コロニア市内は時速20マイル(約32km)、スクールゾーンは時速15マイル(約24km)となっている。定期的に警察によるパトロールが行われており、スピード違反、交通標識無視を取り締まっている。罰金は、スピード違反は時速1マイル(約1.6km)超過ごとに1米ドル、その他の違反は一律20米ドルとなっている。

7-4 車の修理

(1) 部品

日本製(輸出車)の車が80%以上を占めていることもあって、トヨタ、ニッサン車などの軽度の修理は問題ないが、技術者の技術がそれほど高くないため、複雑な修理は期待できない。日本車を含め、部品の供給は十分ではなく、取り寄せに時間がかかる。

(2) 修理工場

Yellow Page 日本人が経営するPCR Car Repair Shopのほか数軒ある。板金修理は問題ないが、エンジン修理など電気系統のトラブルはそれほど期待できない。塩分を含んだ潮風のため、車体がさびやすい。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

通信事情は比較的良好、ポンペイでは遠隔地でもほとんどの家庭に電話が引かれている。州内の電話は基本料金のみでかけ放題。電話回線利用者の内訳は、政府関係16%、商業関係24%、一般家庭用60%である。

公衆電話は電話局、空港、数軒のホテルに設置されているが一般的ではない。

自宅に新しく電話を設置するには、ラインがすでにある場合はよいが、ラインのない場合は住居の設備状況にもよるが、申請後非常に長くなる。

(2) 国内電話

市内電話と他州への電話に分けられている。

市内電話はダイヤル式で、基本料金は月額8米ドル、通話料は追加無である。他州への電話(国内長距離電話)も、直接ダイヤル通話ができる。料金は時間帯によって異なる。

(3) 国際電話

プリペイドカードを使うのが一般的。国際電話使用契約をしていない電話からでも海外通話ができる。通話料金は、時間帯によって異なる。

(4) 携帯電話

Yellow Page 携帯電話サービスは、電信電話会社のFSMテレコム(FSM

Telecommunication Corporation、詳細はPart3イエローページを参照)が行っている。携帯電話機も販売されており、価格は50米ドルから300米ドルが目安であるが、廉価商品は故障が多いため、ある程度の高額商品を購入したほうがよい。登録用のSIMカードは20米ドル程度。登録終了後、プリペイドカードを購入すると通話が可能となる。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

ファクシミリはFSMテレコム、勤務先などを利用する。

日本へ送信する場合は、基本料金はなく、1分ごとに約2米ドルかかる。

(2) テレックス

テレックスはファクシミリと同じくFSMテレコム、勤務先などを利用する。

日本へ送信する場合、基本料金はなく1分ごとに約2米ドルである。

(3) 電報

FSMテレコムで取り扱っている。基本料金はなく、1語(10字以内)30セントである。

(4) インターネット

FSMテレコムがインターネットプロバイダー業務を行なっている。プリペイドカードを使ってインターネットを利用するのが一般的になった。個人のアカウントを開きたければいくつかプランがあるが、プリペイドカードに比べて割高。最近は無料・有料の接続が可能で、FSMテレコムでワイヤレスに接続することも可能。

8-3 郵便

(1) 一般事情



封書、はがき共に航空便は、現地の郵便局(Pohnpei Post Office)から日本へは7日～10日かかる。日本からもほぼ同じくらいの時間がかかるが、使用される航空便によって若干異なる。郵便の自宅配達はなく、私書箱気付である。私書箱は年間5米ドルで、誰でも開設できる。郵便小包は私書箱に通知がくるので、これを持参して窓口で受け取る。

(2) 課税

個人消費物については、ふつうは課税されない。

(3) 国際宅配サービス



ミクロネシアで利用できる国際宅配サービス会社には、CTSI(Fedex)とDHLがある。

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

英語仕様のパソコンは現地調達できる。OSはMacintoshも多少流通しているが、Windowsが主流であり、入手が容易である。通常、店舗に在庫がないため、注文販売となる。店舗で注文した場合も、通信販売を利用した場合も、価格にそれほど差はない。

周辺機器、消耗品は全般的に入手可能であるが、周辺機器はパソコン本体と同様、ほとんどが注文販売となる。店舗で注文した場合も、通信販売を利用した場合も、約3週間から1カ月で納品となる。

(2) 使用の際の注意

供給電源はあまり安定していないため、スタビライザーを使用したほうが無難である。ノート型パソコンを使用する場合は、念のためアダプターを複数携帯したほうがよい。

海賊版ソフトは流通していない。ウイルス対策については、出発前に定期更新手続きを行っておくことを勧める。

(3) 修理



コンピューターの修理は、Pohnpei Computer Consulting(詳細はPart3イエローページを参照)でできるが、Appleの製品の修理は不可能である。FSMテレコムにもコンピューター技術者がおり、インターネット関連の修理であれば、依頼できる。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

官公庁、政府機関の就業時間は8:00～17:00、昼休みは12:00～13:00である。残業の習慣はほとんどない。

(2) 有給休暇

官公庁、政府機関職員には10～15日間の有給休暇が与えられている。

(3) 執務室

職員が過剰に配置されていることもあり、個室が与えられることはあまりなく、カウンターパートと部屋を共有するのが一般的である。パソコン、文房具などは必要に応じ配属先が整備する。

(4) 通勤事情

ほとんどが自動車通勤のため、通勤時間帯、昼休みの時間にも交通渋滞が見られるようになっている。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

無償資金協力「ポンペイ国際空港改善計画」により2011年にターミナルビルの増築がなされ、入国と出国のビルが別々になった。

(2) 入国手続き書類

入国カード、税関申告書が必要である。これらの書類は飛行機内で配布される。

動植物の持ち込みは厳しい。動植物帯同申請書(用紙代1.5米ドル)に入国2週間前からの健康状態、餌料の種類(ドッグフードなどの加工品なら問題ない)を記入し、現地の検疫注射を受ける。また、日本出発時の検疫証明か獣医の健康診断書も必要である。植物は根付きのものは土壌検査を受ける。果実のうち、かんきつ類、ウリ類はミバエ防疫のため、検疫証明を得ていないものは輸入禁止である。

以上の手続きは、ミクロネシアにある4つの国際空港(ポンペイ、ヤップ、チューク、コスラエ)のどの空港から入国する場合でも、必要である。

(3) 入国審査

ビザはEntry Permitと呼ばれるもので、3ヶ月以上滞在者は入国管理局を通じて手配する。

滞在予定が3ヶ月未満なら、入国審査で滞在期間を尋ねられ、通常は1カ月のビザが与えられる(その後の延長期間については、配属機関を通じて連邦政府移民局に延長手続きを申請する)。

(4) 税関検査

麻薬の検査が厳しく、常備薬のうち粉末については、検査のため一時預けとなる場合がある。銃器の持ち込みは禁じられている。ナイフ、カッターなど、鋭利な製品についても規制が厳しく、機内への持ち込みも不可能である。酒類は1500mlまで、タバコは200本まで免税。

(5) 空港内での留意点

荷物の盗難はめったにないが、遭遇した場合は税関職員に知らせるか、航空会社に通報する。また、荷物が、手違いで他国の空港へ行ってしまうこともあるので、預け入れ荷物のある際はよく荷札を確認しておくこと。

病気の場合は、航空会社に連絡すれば病院を連絡してくれる。

(6) 出迎え

該当情報なし。

(7) 空港からの主な交通手段

通常、ホテルが送迎用の車両を手配しているが、念のためホテルを予約する時に確認する必要がある。そのほかタクシーもあり、料金は1米ドルで、空港売店に依頼して手配できる。

(8) その他の留意点

空港にも市内同様両替所がないため、外貨は両替できない。出発前に通貨の米ドルを携行しておく。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

航空会社のカウンターでチェックインの後、空港使用税支払カウンターで支払を済ませ搭乗券を入手、その後出国窓口に向かい出国手続きを行う。

(2) リコンファーム

コンチネンタル・マイクロネシア航空については、リコンファームは必要ない。ただし、コンチネンタル・マイクロネシア航空ではダブル・ブッキングが珍しくなく、突然予約が取り消されている場合もあるので、出発時間約3時間～2時間半前に早めのチェックインをする必要がある。

(3) チェックイン

マイクロネシア国内発着のすべての便が国際線である。チェックイン開始は出発時刻の3時間前。なお、出発時刻1時間前にはチェックインを締め切るので注意する。

(4) 空港利用税

搭乗券受領の際に10米ドル(ポンペイ)、15米ドル(コスラエ)、20米ドル(チューク)を支払う。ヤップは利用税がかからない。

(5) その他の留意点

赴任時に滞在期間中有効なエントリーパーミット(ビザ)を取得していれば、その期間内の出入国に関しては複数回でも、再入国ビザは必要ない。必要なものはパスポートとエントリーパーミット(ビザ)のみである。なお、日本の留守家族を観光で呼び寄せる場合、1カ月以内であれば無条件で1カ月のビザが到着時に発給される。

動物検疫証明書は、アグリカルチャー(農産部)に検疫官がおり、所定の申請書に必要事項を記入する。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

パスポート、エントリーパーミット(ビザ)のみで、予防接種証明などは必要ない。帰国が延びる場合には、事前にビザ延長手続きを取る必要がある。

(2) 車の処分

買い手を見つけるには口コミの方法があるが、自動車販売会社を通じたほうが支払い回収は確実である。個人はローンで買う場合が多く、その手続きに時間を要し、支払いが遅れたり、滞ったりすることが多々ある。

免税車の場合は、売値の10%を税金として売り主が支払う。税金については、

税務署に事前に問い合わせるとよい。自動車販売会社を通じて処分すれば、税金手続きなどをすべて依頼できる。

(3) 家財道具の処分

家財を日本に送るために郵便局を利用する場合は、郵送手続きを代行する会社はないので、個人で持参し、手続きする。重量制限は空送44ポンド(約20kg)で、1ポンド(453.5924g)ごとに送料は異なる。ミクロネシアの郵便局は、米国郵政機関の傘下にあるため、米国の郵便料金が適用されます。

現地で処分する場合は、家主への売却、ガレージセール、あるいは知人、使用人に譲るなどのいずれかである。

(4) 住宅の明け渡し

家主には契約で決められた月数により、前もって退去予定日を通知しておく。任期延長の可能性があれば、そのこともあわせて通知する。

(5) 外貨持ち出し規制

外貨持ち出し制限はないので、送金や米ドル紙幣で持ち帰ることは自由である。グアムでトランジットで米国へ入国する場合は、米国の法律の適用になるので注意を要する。

12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

これまでに大きな暴動やクーデターが勃発したことはない。

(2) 対処法

防衛はアメリカに依頼し、警察権は連邦政府にある現状では、暴動、クーデターは起こり難いが、万が一緊急事態が起きた場合の連絡は電話で行う。ミクロネシアを管轄する日本大使館はポンペイ州コロニアにある。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

治安は東南アジア、アフリカ、南アメリカに比較すると格段によい。強盗、殺人などの凶悪犯罪は非常に少なく、これまで日本人が巻き込まれた事件はほとんどない。しかし、最近は空き巣が増えつつあり、パソコン、デジタルカメラ、携帯電話、現金などが狙われやすい状況である。

(2) 住宅の防犯対策

外国人が多く居住するコロニア周辺はポンペイ州警察によるパトロール警備があり、治安は悪くはない。現地の住民の多くは犬を飼っている。住居に関しては、これまで防犯網やバーグラーパーを取り付ける習慣はなかったが、地域によっては取り付けられるケースが多くなっている。

(3) 市中での防犯対策

治安は安定しており、日中犯罪に巻き込まれることは、まずない。しかし、若い女性は性犯罪に巻き込まれる可能性があるため、肌の露出の多い服装は避けるべきである。夜間は外灯もほとんどないので徒歩での外出はすべきでない。

(4) 注意すべき場所、危険地域

週末の酒場は泥酔者が多く、絡まれる場合もある。そのため、なるべく酒場には出入りしないことが肝要である。

(5) 被害時の心得

部屋(特に寝室)には鍵をかけたまま(部屋から出ない状態)、大声で近所に知らせる。直ちに警察に通報し、現場はそのままにしておく。

12-3 自然災害(台風、津波、地震など)

(1) 自然災害発生状況

台風が発生し通過するのはミクロネシアより北側の地域が多いが、3年に1度くらいの割合で熱帯性低気圧が現地を直撃する。外海に面した海岸では、リーフを乗り越えて高波が押し寄せる。

(2) 防災対策

台風発生や津波警報はローカルラジオで報道されるが、それがやや遅れることがあるため、日頃から天候に注意し、1週間程度の食料を備蓄しておくことが望ましい。自然災害による家屋の損傷については、賃貸契約における借家人は、原則的に免責される。

また、被害により生活ができなくなった場合は、学校などが避難センターに指定されているので、そこに退避するか、被害を受けていない個人の家へ寄せてもらうことになる。

(3) 被災時の心得

台風などの自然災害に備えて、事前に食料品などの必要物資を調達しておくとい。

12-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館 : 320-5465/6366
- ・警察 : 320-2221(ボンベイ州)、911(ヤップ州)、911(チューク州)、911(コスラエ州)
- ・消防 : 320-2223(ボンベイ州)、350-3333(ヤップ州)、330-2222(チューク州)、370-3333(コスラエ州)
- ・救急 : 320-2213(ボンベイ州)、350-3446(ヤップ州)、330-2444(チューク州)、370-3012(コスラエ州)

13. 社交



13-1 風俗習慣

ポンペイ島は、古くから5人の伝統的首長(ナンマルキ)を長とする5つの首長国(ウー、キチ、マタラニウム、ソケース、ネッチ)から成り立っており、それぞれが母系社会を築いてきた。

現在の行政の中心は、アメリカとの自由連合下に確立したポンペイ州政府にあり、近代的な行政を実現している。近年、伝統的首長制度の勢力は急激に勢力を弱めているものの、古くから続いている制度を無視することはできないので、行政上さまざまな配慮がなされている。宗教は、住民のほとんどがキリスト教(カトリックもしくはプロテスタント)に属し、近代的行政、伝統的首長制度とまじり合いながら、ポンペイ島の社会を形成している。

ポンペイの特徴的な風俗として、サカオがある。サカオとは鎮静作用のある飲み物で、太平洋諸国では通常カバと呼ばれ、人々に親しまれている。ミクロネシアには、コショウ科の灌木の根を石(玄武岩)で砕き、水を加えたものをハイビスカスの木皮で絞って皆で回し飲みするという、サカオの伝統的な飲み方がある。

外国人の場合は、自分から進んで飲もうとしない限りは、セレモニーなどの席でひと口飲む程度であるが、現地の人に勧められた場合は、拒否しないほうがよい。町のいたるところにサカオを飲ませるバーがあり、仕事が終わる夕方ごろになると、土地の人々が集まってきてはサカオを飲む。特に週末は非常にぎわいを見せるが、サカオはアルコールと異なり鎮静作用があるため、皆深く考え込んだように、もの静かに飲んでいる。ポンペイの自然と調和する平和なシーンであるため、サカオバーでの大声でのお喋り、大騒ぎは厳禁である。

13-2 パーティーでの留意点

招待状を出す場合、夫婦同伴とするのが習わしである。また、料理は多めに用意し、残った料理を持ち帰ってもらうのが習慣となっている。

13-3 来客時の留意点

飲み物については、夕刻であればビール、それ以外は甘い飲み物(ジュースなど)を勧める。なお、コーヒーを飲む習慣はあまりないが、所望された場合は、砂糖を多めに入れる。食事は甘く薄い味は好まれず、一般的に濃い味が好まれる。客人がサカオを持参した場合は、多量の食事を用意する必要はない。

13-4 訪問時の留意点

訪問前にはアポイントメントをとっておいたほうが無難である。現地の人々が時間を厳守することはあまりない。その一方、日本統治時代の影響が主因だと思われるが、日本人は非常に時間に正確だというイメージを持っている人がミクロネシアには多い。ミクロネシアでの日本人のよいイメージを崩さないためにも、訪問時間は遵守すべきである。手みやげは特に必要ない。

13-5 禁止されている言動(タブー)

現地の人は、日本人に対して勤勉、真面目などのよい印象を持っている。このような印象を崩す軽はずみな行為は避けるべきである。

また、現地の人は、自らの文化に非常に高いプライドを持っている。そのため、良好な人間関係を構築したいのであれば、彼らの文化を軽侮するような言動は厳禁である。

13-6 日本人会

Yellow Page ミクロネシア ポンペイには、日本人会があり、四半期ごとにピクニック、運動会、餅つき大会などの季節に合った催し物が開かれている(詳細はPart3イエローページを参照)。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

JICA帰国研修員同窓会が2006年度に立ち上げられた。

13-8 現地の人々との交流

週末に、サカオを飲みに行く。また、現地の人は家族総出で近隣の行楽地にピクニックに行くことがよくある。その際、昼食などは彼らが用意してくれるのが一般的であるが、のり巻きなどの日本食を多少用意していくと喜ばれる。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

アメリカの教育制度がそのまま引き継がれている。日本の小学校に相当するプライマリースクールは8年(グレード1~8)、高校は4年(グレード9~12)で卒業する。小学校の就学年齢は6~14歳で、ポンペイ州法ではこの年齢の児童には就学が義務づけられており、公立の小学校では無償教育を実施している。このため、就学率は100%に近い。

これらの学校では、米国式の教育が行われているが、各種の教材が不足しているため、グアム島や隣国より低い教育水準となっている。

公立のプライマリースクールは各自治区にある。高校は、コロニア市内にある公立のポンペイ中央高校のほか3校。また、ミクロネシア各州に短期大学(College of Micronesia)のキャンパスがある。

(2) 日本人学校

日本人学校はない。

同伴子女の教育については海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

< 海外子女教育振興財団 >

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail :service@joes.or.jp

受付時間 :9:30 ~ 17:30(月 ~ 金、祝日・年末年始を除く)

・東京

所在地 :〒105-0002

東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL :03-4330-1349

FAX :03-4330-1355

・関西分室

所在地 :〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

TEL :06-6344-4318

FAX :06-6344-4328

(3)現地校、外国人学校

Yellow Page 外国人子女が公立の学校に入学するケースはほとんどなく、カトリック教会が開設している私立校Pohnpei SDA School(幼稚園、小学校、高校課程あり。詳細はPart3イエローページを参照)に入学する。同校の入学手続きに必要な書類は、入学願書、親の同意書、子弟の学歴である。

公立小学校へ入学するには、必要な書類に必要事項を記入し、学校長に提出すればよい。

(4)幼稚園

SDA幼稚園のほか、公立幼稚園もある。

14-2 教育関係施設

(1)図書館など

Yellow Page 各学校に付属の図書室がある。そのほかポンペイ州立図書館があり、誰でも閲覧は可能である。

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

一般的に、家庭の使用人は、家事全般の手伝いをするメイド(家政婦/夫)だけである。庭師と草刈りは家主が手配する。車は自分で運転するので、運転手を雇う習慣はない。

15-2 運転手

(1)雇用

「運転手」という業務はない。特に必要ならば、知人の紹介で身元の確実な人を雇う。雇用する際には契約書を作成したほうがよい。市内だけの移動ならタクシーで十分である。

(2) 日常管理

該当情報なし。

(3) 教育指導

該当情報なし。

(4) その他の留意点

法律により、被雇用者は厚生年金番号 (Social Security Number) 所持者でなければならない。この番号を持っていない人を雇用し、それが発覚した場合は、雇用者に罰金が科される。家政婦 / 夫についても同様である。

15-3 家政婦 / 夫

(1) 仕事の種類と人数

家政婦 / 夫の仕事は主に掃除、洗濯、皿洗いで、料理は期待できない。1つの家庭で複数の家政婦 / 夫を雇う例は、大使公邸などを除き、あまり例がない。

(2) 雇用

15-1を参照。家政婦 / 夫の1日の平均労働時間は4～5時間、時給1.5米ドル程度で、2週間ごとに支払う。休日は土曜日と日曜日で、交通費は交渉次第。

(3) 日常管理

電話の無断使用が多いので、日中外出する際は、電話線を抜いておくなど、対策を講じたほうがよい。また、小物を盗まれないよう、併せて対策が必要である。また使用人を解雇する際は、小さな社会なので、悪い噂が流れないように配慮すべきである。

15-4 庭師、ガードマン

庭師を雇用する習慣はなく、知人などの紹介により月1回程度、定期的に来てもらうのがふつうである。

コロニア市内は警察が巡回している。警備員を雇用している一般家庭はなく、少数のアパート大家がアパート入口に警備員を雇用し、配置している。

16. メディア**16-1 新聞、雑誌**

(1) 現地発行の日刊紙

現地に日刊紙はない。隔週で地方新聞「Kaselehlie Press」が発行されている (1部1米ドル) ほか、グアムから週4回、「パシフィック・デイリー・ニュース」(英字新聞) が航空便で届く (1部80セント)。これらの新聞は一部スーパーマーケットなどで取り扱っている。

(2) 日本の日刊紙



マイクロネシアにOCSの代理店はないので、日本に申し込む (詳細はPart3イエローページを参照)。配達遅滞日数は7～10日である。

(3) 欧米紙 / 誌

取扱店がなく、購読できない。個人で定期購読契約を結ぶ。

(4) 日本の雑誌、書籍

取扱店がなく、購読できない。個人でOCSなどと定期購読契約を結ぶ。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

V6AH(州営)が、6:00~24:00に中波1449kHzで放送している。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

NHKワールド・ラジオ日本の大洋州向け放送を受信できる。周波数は、3月末と10月末に変更するので、周波数表を入手のうえ、確認すること。朝晩の放送時間帯は受信状態がよい。受信機は、周波数がデジタル表示式のものが便利である。室内アンテナで受信できるが、外部アンテナを張れば効果的である。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

・NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111 (平日 / 日本時間 10:00 ~ 19:00)

日本国内から : 0570-066066 (NHK視聴者コールセンター / 24 時間受付)

E-mail : nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

・URL : <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/index-j.html>

(周波数表、番組表確認)

・FAX : +81-3-5454-0888 情報番号 260

(日本語放送の周波数表・番組表FAX サービス)

・郵送 : 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3) 聴取可能なその他の外国放送

グアム、オーストラリアなどの放送も受信状態はよい。ミクロネシアの外国情報源はVoice of Americaである。

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

該当情報なし。

(2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

Island Cable TV (ICTV、電話: 320-2442) というプライベートのサテライト中継局があり、月25米ドルの契約でグアム島、ハワイ、アメリカ本土の放送番組を視聴できる。CNNも24時間放映している。NHKワールド・プレミアムも含まれているが、ポンペイ州ではNHK受信料は別途日本人会に支払うことになっている。

(3) テレビ受信

放送方式が日本のNTSC方式と同じなので、日本製のテレビも使用できる。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



Yellow Page

17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

施設はない。

(2) テニス

日本人がよく利用しているスポーツ施設には、Pohnpei Family Health Clinicのそばにあるテニスコートがある(詳細はPart3イエローページを参照)。

(3) その他のスポーツ・レジャー

ソフトボール、硬式野球などが行われている。また、ダイビングや釣りも人気があり、ミクロネシア在住の日本人も楽しんでいる。いくつかののホテルや会社でダイビング・釣りの予約を受け付けているので、詳細はホテル・フロントに問い合わせることを勧める。

17-2 趣味

該当情報なし。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

該当情報なし。

(2) 家庭教師

斡旋する会社がないため、知人に依頼して講師を紹介してもらうなどの手段を講じる必要がある。

18. 観光



18-1 他州への旅行に係る留意点

ポンペイ州からコスラエ、チューク、ヤップの各州への国内旅行は航空便の国際線を利用するので、パスポートの携帯が必要となる。また、ヤップへの便はグアム島(国外)経由となる。

ポンペイ州の離島への連絡は、政府の連絡船が1カ月に1回各離島へ就航しているが、医療活動も兼ねておりスケジュールがそのつど異なるので、政府運輸局に問い合わせる必要がある。

18-2 主要観光地・保養地


ポンペイ島には太平洋最大の石造遺跡(ナンマドール)がある。

島内のツアー会社ではリーフ内の島でのシュノーケリング、本島東側にあるケ

プロイの滝、ナンマドールへの訪問を組み入れたピクニックツアーが催されており、1人約70米ドルで利用できる。島内にはビーチがないため、ボートで10分ほどの小島へ出かけて海水浴やシュノーケリングを楽しむのが一般的である。

18-3 旅行代理店

海外旅行、国内旅行を取り扱っている会社は以下のとおりである（詳細はPart3イエローページを参照）。

-  Yellow Page
- ・House of Travel
 - ・Village Travel

19. 私財の輸送、引き取り、購入



 Yellow Page

19-1 家財道具

(1) 輸送会社

海送荷物を取り扱う輸送会社には、Pohnpei Transfer & Storageがある（詳細はPart3イエローページを参照）。同社では岸壁業務、保税倉庫管理を行っており、頼めば段ボール箱から木箱梱包の荷物まで、ドアツードアで取り扱ってくれる。料金は数量によって異なるが、中間会社のマージンがないため、日本に比べて安い。なお、日本からの木箱を保存しておけば、帰国の際使用できて便利である。

(2) 輸入手続き

輸入申請用紙に所要事項を記入し、船積み書類とともに税関に提出する。ミクロネシアへ荷物が到着した旨の通知があったあと、書類が整っていればその場で受け取りが可能である。

(3) 輸入貨物の受け取り港

輸入貨物はポンペイ港で受け取る。

19-2 自動車

(1) 一般状況

輸入規制、車種および排気量規制はない。

車両は右側通行、普通車は大半が日本からの中古車。車は現地で購入したほうがよい。

現地では、輸入された日本車（右ハンドル）が80%以上を占めている。日本車は主に、JOYホテルオーナーやFuji Enterpriseが取り扱っており、軽自動車から2000cc程度までの車であれば、主要メーカーの日本車を購入できる。

(2) 輸入手続き

新車・中古車ともに、船積み書類のFOB価格（運賃、保険料を含まない船積みする前の価格）に対し、輸入税として国税と地方税（州税）が課税される。

(3) 現地での購入

ディーラーから買う場合は中古車が大半である。新車は注文購入となり、注文書に希望車種を記入する。注文から入手まで約3カ月を要する場合もある。

(4) 自動車登録

個人で登録をする場合、警察署自動車課へ赴き登録料を支払い、所要の書類に署名し、ナンバープレートを受け取る。登録は毎年更新が必要で、ナンバープレートの頭文字のアルファベット順に支払い月が決まっており、12カ月ごとに登録料を支払う。強制保険制度はない。

(5) 免許証取得

2カ月以上滞在する場合は、日本の運転免許証を警察署に持参し、所定の申請書に記入して署名すれば、その場でミクロネシアの3年間有効の免許証が交付される。費用は、写真代を含めて6.5米ドルである。

なお、3カ月以上滞在する人は、ミクロネシアの免許証に切り替えるよう義務づけられている。

(6) 保険、税金

強制保険はなく、任意保険の1種類だけである。



現地には、AIUの代理店がある。

車の輸入税は、新車、中古車を問わず、また、排気量に関係なく、FOB価格に対し国税3%、地方税20%の一律である。

20. 地方都市



ヤップ州へは、首都のあるポンペイ島からグアム島を経由する。気候は、ポンペイ島と比べて、乾燥している。在留日本人は約20人ほどであるが、ほとんどがJICA関係者である。市街はポンペイと比較するとこじんまりしているが、流通している物資にそれほど差はない。

Part 3 イエローページ

特に記載のない限り、JICAミクロネシア支所のあるポンペイ島の情報が中心になっています。

1. JICA 事務所

所在地	3rd Floor Martin's Building, Kaselehlie Street, Kolonia, Pohnpei 96941, Federated States of Micronesia (P.O.Box G,Kolonia Pohnpei 96941, Federated States of Micronesia)
TEL/FAX	TEL+691-320-5350/6750/4972 FAX+691-320-5360
URL/E-mail	URL : http://www.jica.go.jp/fsm/index.html E-mail: jica_mn_oso_rep@jica.go.jp

2. 日本大使館

日本大使館	"Pami Building" 3rd Floor, Kolonia, Pohnpei, F.S.M. 96941(P.O.Box 1837, Kolonia, Pohnpei, F.S.M. 96941)
TEL/FAX	TEL: 320-5465 FAX: 320-2933
URL/E-mail	URL : http://www.micronesia.emb-japan.go.jp/ E-mail: japanemb_consul@mail.fm

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL: 320-5465
警察	TEL: 320-2221 (ポンペイ州)、911 (ヤップ州)、911 (チューク州)、911 (コスラエ州)
消防	TEL: 320-2223 (ポンペイ州)、350-3333 (ヤップ州)、330-2222 (チューク州)、370-3333 (コスラエ州)
救急	TEL: 320-2213 (ポンペイ州)、350-3446 (ヤップ州)、330-2444 (チューク州)、370-3012 (コスラエ州)
医療機関	ポンペイ州 Genesis TEL: 320-2525(24 時間) Pohnpei Family Health Clinic (Dr. ISAAC) TEL: 320-5777

4. ホテル

■Cliff Rainbow

P.O.Box 96 (コロニア)
TEL: 320-2415/5939 FAX: 320-5416
E-mail: cliffrainbow@mail.fm
料金: シングル(スタンダード)42.40 米ドル、(デラックス)95.40 米ドル、ダブル 106 米ドル、スイート 143.10 米ドル
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard

■Jov Hotel

P.O.Box 484 (コロニア)
TEL: 320-2477 FAX: 320-2478
E-mail: joy_ponape@mail.fm
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard
日本人が経営しているホテルで、サービスが行き届いている。JICA 事務所から最も近い。

■Ocean View Plaza

●East Wing P.O.Box 1256 (コロニア)
TEL: 320-5075/3075 FAX: 320-4846
●West Wing P.O.Box 406 (コロニア)
TEL: 320-7049 FAX: 320-3347
URL: http://www.fm/oceanview
E-mail: rumorsinc@mail.fm
料金: (East Wing/山側) シングル 83.90 米ドル (East Wing/海側) シングル 88.20 米ドル、ダブル 139.13 米ドル (West Wing/山側) シングル 79.50 米ドル、ダブル 116.60 米ドル (West Wing/海側) シングル 84.80 米ドル
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard, JCB, DC
長期滞在が可能であり、日本大使館関係者など日本人が居住している。

■Hotel Sea Breeze

P.O.Box 371 (コロニア)
TEL: 320-2065/2066 FAX: 320-2067
E-mail: seabreeze@mail.fm
料金: (山側) シングル 59.95 米ドル、ダブル 70.85 米ドル (海側) シングル 70.85 米ドル、ダブル 81.75 米ドル
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard

■PCR Hotel

P.O.Box 101 (ネッチ)
TEL: 320-4982 FAX: 320-4983
E-mail: PCR_Pohnpei@mail
料金: シングル 75 米ドル、ダブル 85 米ドル
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard, American Express

■South Park Hotel

P.O.Box 829 (コロニア)
TEL: 320-2255/4911 FAX: 320-2600
E-mail: southparkhotel@mail.fm
料金: (旧館) シングル 53.00 米ドル、ダブル 63.60 米ドル (新館) シングル 106 米ドル、ダブル 127.20 米ドル

使用できるクレジットカード:VISA、MasterCard

■The Village Hotel

P.O.Box 339(ウー地区アワック)

TEL:320-2797 FAX:320-3797

URL: <http://www.theVillageHotel.com>

E-mail: thevillage@mail.fm

料金:シングル 103-117 米ドル、ダブル 113-127 米ドル(3タイプ)

使用できるクレジットカード:VISA、MasterCard、JCB、American Express、DC

東京の旅行代理店、パノラマインターナショナル(TEL:03-3403-3331)で予約可能。バンガロータイプのエコロジスト向けホテル。コロニアから車で20分のところにある。

■Yvonne's Hotel

P.O.Box 688(コロニア)

TEL:320-5130 FAX:320-4953

<http://www.yvonneshotel.com/> E-mail: yneth@mail.fm

料金:(旧館)シングル 55 米ドル、ダブル 65 - 75 米ドル (新館)シングル 55 米ドル、ダブル 75 米ドル

使用できるクレジットカード:VISA、MasterCard

キッチン付の部屋もあり、長期滞在も可能。

5.美容院 / 理容院

■J.A.D's Enterprises

コロニア

TEL:320-2692

日本人理容師が経営している。

■Palm Terrace Beauty Shop

コロニア

TEL:320-5257

6.飲食店

< 日本料理 >

■PCR Restaurant

PCR Hotel, P.O.Box 101(ネッチ)

TEL:320-4981/4982 FAX:320-4983

E-mail: PCR_Pohnpei@mail.fm

予約不要。

■Joy Hotel Restaurant

Joy Hotel, P.O.Box 484(コロニア)

TEL:320-2447 FAX:320-2478

E-mail: Joy_Ponape@mail.fm

街の中心部にあり、現地の人に人気が高い。牛カツ丼、焼肉定食、ラーメン、そうめんなど、各種和食が楽しめる。予約不要。

■South Park Restaurant

South Park Hotel, P.O.Box 829(コロニア)

TEL:320-2255/4911 FAX:320-2600

E-mail: southparkhotel@mail.fm

営業時間:7:00 ~ 21:00

レストランからすばらしい海辺の眺めが楽しめる。トンカツ定食、カレーライスなど、各種の和食も味わえる。

■Sei Restaurant

TEL:320-4266

バイキングスタイルの店で、日本食に近い味付けが人気。フライドチキン、刺身、ポテトサラダ、てんぷらなどのメニューが食べ放題。

< 中国料理 >

■China Star Restaurant

P.O.Box 1328(タカティック)

TEL:320-4390

ボンベイ国際空港に近い。

< 西洋料理 >

■The Village Hotel Restaurant

The Village Hotel, P.O.Box 339(ウー地区アワック、コロニアより車で20分)

TEL:320-2797 FAX:320-3797

URL: <http://www.theVillageHotel.com> E-mail: thevillage@mail.fm

営業時間:7:00 ~ 21:30

高台からボンベイ周辺の海岸線などの雄大な自然が見渡せる。20 米ドル前後の手軽な価格で各種料理を満喫できる。

7.スーパーマーケット

- Yoshie Enterprise
 P.O.Box 70(コロニア)
 TEL:320-2412/5412/5503 FAX:320-2568
 営業時間:9:00~20:00(月~土)、10:00~18:00(日)
 品揃えが非常に豊富。食料品、食器・調理器具類、家電製品、日用雑貨などを取り扱っている。
- Palm Terrace
 P.O.Box 310(コロニア)
 TEL:320-2881/2882
 営業時間:7:45~21:00(月~金)、7:45~20:00(土)、10:00~18:00(日)
 ポンペイ州のスーパーマーケットのなかでは、品揃えが最も豊富である。食料品、食器・調理器具類、日用雑貨などを取り扱っている。
- Wall Mart
 P.O.Box 340(コロニア)
 TEL:320-6541
 営業時間:8:00~20:00(月~土)、10:00~18:00(日)
 市街地の中心部に位置しており、利便性がよい。食料品、食器・調理器具類、日用雑貨などを取り扱っている。

8.家電製品・文房具・PC付属用品店

- NIHCO
 P.O.Box 327(コロニア)
 TEL:320-4659
 FAX:320-6504
 E-mail:nihco@mail.fm
 営業時間:7:30~17:30(月~金)、9:00~14:00(土)
- ACE Office Supply
 P.O.Box 67(コロニア)
 TEL:320-8279
 FAX:320-8280
 E-mail:officesupplies@mail.fm

9.家具店

- ACE Hardware
 P.O.Box 67(コロニア)
 TEL:320-2723 FAX:320-5295
 E-mail:PohnpeiAce@mail.fm
 営業時間:8:00~17:00(月~金)、8:00~12:00(土)
 家具、工具・素材などを取り扱っている。
- True Value
 P.O.Box 248(コロニア)
 TEL:320-5726/4965 FAX:320-5724
 営業時間:8:00~17:00(月~金)、8:00~12:00(土)
 家具、工具・素材などを取り扱っている。

10.銀行

- FSM Bank
 P.O.Box 98(コロニア)
 TEL:320-2724 FAX:320-5359
 E-mail:tvamaquchi@bofsm.fm
 営業時間:9:00~15:00(月~木)、9:00~17:00(金)
 ミクロネシア国内4州に支店があるため関係者が使用している。ATMはない。
 日本円から米ドルへの換金は不可能。
- Bank of Guam
 P.O.Box 367(コロニア)
 TEL:320-2550 FAX:320-2562
 営業時間:9:00~15:00(月~木)、9:00~17:00(金)
 ATMあり。日本円から米ドルへの換金は不可能。4州に支店あり

11.タクシー会社

- コロニア市内には各種あるがルートによって会社が決まっている。

12.レンタカー会社

- Micro Car Rental
 P.O.Box 276(コロニア)
 TEL:320-2122
- Budoet Car Rental
 P.O.Box 2266
 TEL:320-8705 FAX:320-9809

営業時間: 8:00 ~ 17:00 (毎日)

使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard, JCB, American Express

■Sennv's Car Rental

P.O.Box 88

TEL: 320-5293/3832

営業時間: 8:00 ~ 17:00 (毎日)

13. 車両修理会社

■PCR Car Repair Shop

P.O.Box 98 (コロニア)

TEL: 320-5956

14. 電信電話会社

■FSM テレコム (FSM Telecommunication Corporation)

P.O.Box 1210 (コロニア)

TEL: 320-2740 FAX: 320-2745

URL: <http://www.fm>

E-mail: CustomerService@telecom.fm

15. 郵便局

■Pohnpei Post Office

P.O.Box 1376 (コロニア)

TEL: 320-2313 FAX: 320-2615

E-mail: fsmpostalpni@mail.fm

営業時間: 8:00 ~ 16:00 (月 ~ 金)

16. 国際宅配サービス会社

■CTSI (FedEX)

P.O.Box 2123 (コロニア)

TEL: 320-7886 FAX: 320-6462 E-mail: ctsipni@mail.fm

■DHL Express

P.O.Box 96 (コロニア)

TEL: 320-6953 FAX: 320-2866 E-mail: dhlpohnpei@gmail.com

17. コンピューター修理会社

■Pohnpei Computer Consulting

P.O.Box 14 (コロニア)

TEL: 320-7497 FAX: 320-7497

18. 日本人会

■日本人会

P.O.Box 484 (コロニア)

TEL: 320-2477 FAX: 320-2478

E-mail: ioy_ponape@mail.fm

代表者: 鈴木幸夫さん

連絡先: Joy Hotel

19. 主な教育機関

■College of Micronesia-FSM (ミクロネシア短期大学)

P.O.Box 159 (パリキール: Palikir)

TEL: 320-2480/2481/2482 FAX: 320-2479

E-mail: national@mail.fm

■Pohnpei Island Central School (ボンベイ中央高校)

P.O.Box 99 (ネッチ: Nett)

TEL: 320-4727/4349

■Pohnpei SDA School

P.O.Box 518 (コロニア)

TEL: 320-6877

E-mail: pnisdaschool@mail.fm

使用言語: 英語

高校(4年制)、小学校(8年制)に幼稚園併設

通学・通園手段: 徒歩、または親が送迎する。

20. 図書館

■ボンベイ州立図書館

P.O.Box 284 (コロニア)

TEL:320-2423 FAX:320-2693

21.日本の新聞/雑誌

■海外新聞普及(株)(OCS) 輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL:03-5476-8131

FAX:03-3453-8091

URL: <http://www.ocs.co.jp/>

E-mail: subs@ocs.co.jp

22.スポーツ施設

<テニス>

■Pohnpei Family Health Clinic そばにあるテニスコート

P.O.Box 99(コロニア)

TEL:320-5142 FAX:320-2539

料金:無料(夜間使用時は、照明代の実費を支払う)

23.旅行代理店

■House of Travel

P.O.Box 1138(コロニア)

TEL:320-5888 FAX:320-5889

営業時間:9:00~17:00(月~金、土曜日はアボのあるときのみ営業を行っている)

■Village Travel

P.O.Box 339(コロニア)

TEL:320-2777 FAX:320-5375

E-mail: villagetravel@mail.fm

24.輸送会社

■Pohnpei Transfer & Storage

P.O.Box 340(コロニア)

TEL:320-2552 FAX:320-2389

25.保険会社

■Movlan's Insurance Underwriters, Inc

P.O.Box 2519(コロニア)

TEL:320-2118 FAX:320-2519

E-mail: movlan90@mail.fm

AIU 代理店。
